

# スパイダーマンもびっくり！ 指から飛び出すアメの糸

おおさわ さちこ  
大沢 幸子 (フリーライター)



『科学』ならぬ『科楽』を目指し、アツと驚く実験を次々と展開するわれらが傳治郎先生。その奇想天外な発想は一体どうやって生まれ、どのように形にしていけるのだろう。その謎を探るテレビの密着取材に追いかけ回され、難産の末に「超おもしろ実験」が誕生した。指の先から糸が噴水のようにピューッと飛び出すスパイダーマンばりの不思議現象！果たしてその原理とは？

## ストレスが生んだアイデア

事の始まりは「新しいアイデアを思い付いて形にしていくなまで」をドキュメントするテレビの密着取材がきっかけだった。これまで仕込んできたシャボン玉ネタ、半導体ネタと、あれこれ披露しても、どれも「いまひとつ」でOKがでない。さすがの傳治郎先生も次第に追い詰められていった。

「すごく行き詰まりましたねー。気が重くなって。朝、科学館に行くとディレクターさんとカメラさんと音響さんがそこにスタンバイしていて、そのままじーっと夜までアイデアが出るのを待ち構えてるんですよ」。

憂鬱な日々はえんえん続き、ようやく突破口が見つかった時は2ヵ月余りが過ぎようとしていた。「何か打開策はないものか」と、シャボン玉を静電気で浮かべる実験の話をしていた時のことだった。

「あまり固まらない状態でシャボン玉を割ると、わたアメになるんです。糸を引いてね。前々から固まりかけのシャボン玉を静電気を帯びた風船で割ると、その電気によって、わたアメがフワーッと糸を引いてのびていくので、だったら最初からシャボン玉にしくなくても、静電気を発するバンデグラフに水アメや濃い砂糖水をのせれば、それがわたアメになって飛び散っていくのではないかって話をし

てましてね。で、帰りがけに、『じゃ、ちょっとやってみますか』ってことになり、試してみたんです」。

頭で考えていても、そんなにうまくいくわけがないと思い、これまで一度も試したことはなかったという。ところが、やってみたらこれが見事に成功。「オーっ、おもしろい!」と思った瞬間、先生の憂鬱は一転、歓喜に変わったのだった。

## 指の先から飛び出す 水アメの糸

このアイデアは視覚に訴えるTV向き

の超おもしろ実験に仕上がった。実験の方法は静電気を発生させるバンデグラフに体の一部を接触させ、体に電気をためて髪の毛を逆立てる。

まさに、マンガの「ドラゴンボール」に出てくるスーパーサイヤ人そのもの。

まず、ハンドパワーでいろんなものを吸い付けることを見せておいて、おもむろに水アメを人差し指の先に取り、親指にくっつけて糸を引かせてから、そばにいる人に向かって両指を差し出すと、その先から細い糸がピューッと噴水のように飛び出し、相手を直撃する。スパイダーマンとか、扇子の先から水が飛び出す水

